

2020年度

事業報告書

学校法人 埼玉福祉学園

1. 法人の概要

①法人の沿革

- 1997年3月 埼玉県知事認可により学校法人 埼玉福祉学園 設立
- 1997年4月 埼玉福祉専門学校 介護福祉科・社会福祉科設置
厚生大臣指定 介護福祉士養成校・社会福祉主事養成機関認可
- 2002年3月 第2校舎完成
- 2004年4月 介護福祉科Ⅱ部(夜間部)設置
- 2007年3月 第3校舎完成
児童福祉科設置
- 2009年4月 社会福祉士養成科設置
厚生労働大臣 社会福祉士養成機関認可
キャリアデザイン・コミュニケーション科設置
- 2010年4月 埼玉ベルエポック製菓専門学校 開校
厚生労働大臣指定 製菓衛生師養成施設認可
パティシエ科設置
- 2011年4月 こども福祉科Ⅱ部(夜間部)設置
- 2011年10月 埼玉ベルエポック製菓専門学校
パティシエ科Ⅱ部(夜間部)・カフェ・スイーツ科(夜間部)設置
製菓衛生師養成施設通信課程認可
- 2013年3月 埼玉ベルエポック製菓調理専門学校名称変更(寄付行為の変更含)
カフェ・スイーツ科(昼間部)・調理師科設置
埼玉ベルエポック製菓調理専門学校第2校舎完成
- 2017年4月 埼玉福祉・保育専門学校名称変更
厚生労働大臣指定 指定保育士養成施設認可
保育士科設置
- 2019年4月 埼玉ベルエポック製菓調理専門学校
旧パティシエ科を製菓衛生師科に名称変更、パティシエ科(新課程)設置
- 2020年4月 埼玉福祉保育医療専門学校名称変更
厚生労働大臣指定 言語聴覚士養成所認可
言語聴覚士科・言語聴覚士科Ⅱ部設置

② 組織目的

地域特性※1とITやIOTなどの先進的なテクノロジーを融合する産官学連携教育を通じて、社会の高度化・複雑化・専門化※2に対応した職業人教育を確立。
人生100年時代を支える医療・福祉・食の専門人材を多数輩出し続ける「社会を育てる学校」になる。

※1 地域特性

さいたま市を含む首都圏は2500万人の人口を抱え、団塊の世代が多く、高齢化が進む。人口に対し医療インフラが不十分であり、団塊ジュニア世代（40代後半）を中心とした労働者は育児と介護の課題に直面し、ストレスコントロールをしながら社会を生活している。

※2 2030年問題

労働人口の減少により日本の経済活動は鈍化。生産年齢人口は稼ぎ手であると同時に、消費の担い手でもある。女性、高齢者、外国人の労働力を確保するためにも、その環境をつくる・支える様々なテクノロジーを活用・応用できるフレキシブルな専門人材が求められる。

③ 運営方針

■学校の新設・分離と統合運営イノベーション

既存の埼玉2校5分野に加え、新しい分野の学校・学科の新設を視野に、事務局部門を統合し、社会の変化、顧客の期待に応える俊敏性と柔軟性のある学校運営を実現する。

■学校広報と教育・就職を連結する「さいたまV」（仮）

労働人口の減少によって直面する課題の解決を目指した教育イベント「さいたまV」。福祉、医療、保育の3分野に加え、労働者に活力を与える製菓、調理の2分野、さらにスポーツやIT等の分野を加え、社会の高度化・複雑化・専門化に必要な人材育成を地域と連携して実現する。

※各企業・団体には「さいたまV」のスポンサーになってもらう

■マネージャーの育成

上記2つのイノベーションを実現するためには、マネージャーの育成が急務である。滋慶学園が大事にしている「人は仕事を通じて成長する」という考え方のもと、学習する組織、対話を重視するマネジメントを実現する。

④ 広報・教育・就職の結果報告

法人名：学校法人埼玉福祉学園

* 2021年3月31日現在

	2021年度 入学定員	2021年度 入学者目標	2021年度 入学者数	2021年度 入学定員充足率	2020年度 D.O率目標	2020年度 D.O率	2020年度 就職率	2020年度 就職達成月
埼玉福祉保育医療専門学校	240 名	200 名	212 名	88.3%	3.4 %	3.7 %	95.2 %	4 月
埼玉ベルエポック製菓調理専門学校	200 名	150 名	138 名	69.0%	3.6 %	3.6 %	91.8 %	5 月
合計	440 名	350 名	350 名	79.5%				

⑤ 実行方針

【広報】

2020年3月末までに

- ①CRMを中心としたWEBマーケティングの体制を整えること
(WEBマーケティングプロジェクト R:高平)
- ②新イベント「さいたまV」の運営フォーマットを確立し、
WEBマーケティングプロジェクトとの連動を開始すること
(さいたまVプロジェクト R:高平⇒高橋)

2020年5月末までに

- ①CRMと連動したMA及びメディアミックスを確立すること
(再来&AOエントリー促進 R:佐藤)
- ②AIを活用した動画制作とSNSの活用パターンを確立すること
(新規イベント参加促進 R:土山)

【教育】

2020年3月末までに

教育改革の要となるスマホキャンパスを実装すること
(教育ICT活用推進委員会 R:小野)

2020年5月末までに

広報がリードする「さいたまV」に教育活動が追いつくこと
(さいたまVプロジェクト R:高橋)

【キャリア】

2020年3月末までに

「さいたまV」のスポンサー獲得を目的とした顧客リストを
完成させること

2020年6月末までに

さいたまVのスポンサー企業・団体 20社を獲得すること
(さいたまVプロジェクト 顧問:飯塚)

【学生サービス】

2020年3月末までに

福祉・ベルの統合運営の確立に集中すること
(R:高平⇒境野)

2020年5月末までに

ICTを活用した在校生向けの学校生活支援サービスの
充実させるため、WEBやLINE向けの動画説明・マニュアル
ツールの制作を始めること
(R:高平⇒境野)

⑥ 法人の設置する学校・学科（2020年度）

埼玉福祉保育医療専門学校

社会福祉専門課程	介護福祉士科 社会福祉士科 保育士科 昼間主コース・夜間主コース こども福祉科Ⅱ部（夜間課程） 社会福祉士養成科（夜間課程）
医療専門課程	言語聴覚士科 言語聴覚士科Ⅱ部

埼玉ベルエポック製菓調理専門学校

衛生専門課程	パティシエ科 製菓調理師科 調理師科 カフェ総合科1年制
--------	---------------------------------------

⑦2020年度事業現況報告（法人全体の概要）

法人名：学校法人埼玉福祉学園

●学生数

埼玉福祉保育医療専門学校

※2020年5月1日現在

学科名	入学定員	総定員	1年生	2年生	3年生	4年生	合計	定員充足率
介護福祉士科	40	80	47	46			93	116.3%
社会福祉士科	0	40			24		24	60.0%
保育士科	80	120	73	44			117	97.5%
社会福祉士養成科	40	40	29				29	72.5%
こども福祉科Ⅱ部	0	40			14		14	35.0%
言語聴覚士科	40	40	42				42	105.0%
言語聴覚士科Ⅱ部	40	40	7				7	17.5%
計	240	400	198	90	38	0	326	81.5%

埼玉ベルエポック製菓調理専門学校

学科名	入学定員	総定員	1年生	2年生	3年生	4年生	合計	定員充足率
製菓衛生師科	40	80	29	13			42	52.5%
パティシエ科	40	80	34	31			65	81.3%
調理師科	80	160	84	80			164	102.5%
カフェ総合科1年制	40	40	33				33	82.5%
計	200	360	180	124	0	0	304	84.4%

法人合計	440	760	378	214	38	0	630	82.9%
------	-----	-----	-----	-----	----	---	-----	-------

●通信課程 学生数

	入学定員	総定員	1年生	2年生	3年生	4年生	合計	定員充足率
埼玉ベルエポック製菓調理専門学校	72	72	46				46	63.9%

⑧役員・教職員の概要

(教職員)

埼玉福祉保育医療専門学校

専任教員 32名

兼任教員 62名

専任職員 7名

埼玉ベルエポック製菓調理専門学校

専任教員 16名

兼任教員 30名

専任職員 5名

<役員>

役員（理事6名・監事2名）

理事長 中村 道雄

理事 青木 猛正

理事 大谷 源一

理事 大野 昭弘

理事 小原 正司

理事 岩原 辰夫

監事 榎本 雅一

監事 寺田 宗功

評議員（13名）

評議員 青木 猛正

評議員 大谷 源一

評議員 飯塚 洋一

評議員 朝武 純子

評議員 中村 道雄

評議員 溝上 俊亮

評議員 栗原 法子

評議員 石田 洋一

評議員 古島 昭博

評議員 土田 雅彦

評議員 浮舟 邦彦

評議員 岩村 勇

評議員 小川 昭久

⑨施設・設備の状況

埼玉福祉保育医療専門学校

- ・第1校舎 埼玉県さいたま市大宮区仲町3-88-2
校地301.22㎡ 校舎1,119.55㎡
- ・第2校舎 埼玉県さいたま市大宮区仲町42-8
校地335.16㎡ 校舎1,167.07㎡

埼玉ベルエポック製菓調理専門学校

- ・第1校舎 埼玉県さいたま市大宮区仲町3-25
校地239.96㎡ 校舎790.21㎡
- ・第2校舎 埼玉県さいたま市大宮区仲町3-100-2
校地309.85㎡ 校舎1,019.20㎡

⑩学校法人 埼玉福祉学園 理事会・評議員会の開催状況

理事会の開催状況

	日時	参加者	議案	備考
第1回	2020年7月13日	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度事業報告の件 ・2019年度決算報告承認の件 ・評議員変更に関する件 	
第2回	2020年7月13日	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉福祉保育医療専門学校の学則変更について ・埼玉ベルエポック製菓調理専門学校の学則変更について ・学校法人東京滋慶学園との合併のための合併契約書承認の件 	
第3回	2020年9月11日	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災および大規模災害 被災学生学費減免処置に関する件 ・埼玉福祉保育医療専門学校の学則変更について 	
第4回	2020年12月2日	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度上半期事業報告および下半期事業計画の件 ・2020年度上半期収支報告および2020年度補正予算承認の件 ・埼玉福祉保育医療専門学校に関する件 ・埼玉ベルエポック製菓調理専門学校の教育課程変更に関する件 	
第5回	2021年1月21日	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉福祉保育医療専門学校に関する件 ・埼玉ベルエポック製菓調理専門学校に関する件 	
第6回	2021年3月22日	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度事業現況報告に関する件 ・2020年度補正予算承認に関する件 ・2021年度事業計画承認に関する件 ・埼玉福祉保育医療専門学校に関する件 ・埼玉ベルエポック製菓調理専門学校に関する件 ・東京滋慶学園と埼玉福祉学園の法人合併に関する件 ・就業規則の変更 ・「補償契約」及び「役員賠償責任保険契約」の件 	

評議員会の開催状況

	日時	参加者	議案	備考
第1回	2021年7月13日	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度事業報告の件 ・2019年度決算報告承認の件 ・埼玉福祉保育医療専門学校の学則変更について ・埼玉ベルエポック製菓調理専門学校の学則変更について ・学校法人東京滋慶学園との合併のための合併契約書承認の件 	
第2回	2020年9月11日	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災および大規模災害 被災学生学費減免処置に関する件 ・埼玉福祉保育医療専門学校の学則変更について 	
第3回	2020年12月2日	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度上半期事業報告および下半期事業計画の件 ・2020年度上半期収支報告および2020年度補正予算承認の件 ・埼玉福祉保育医療専門学校に関する件 ・埼玉ベルエポック製菓調理専門学校の教育課程変更に関する件 	
第4回	2021年1月21日	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉福祉保育医療専門学校に関する件 ・埼玉ベルエポック製菓調理専門学校に関する件 	
第5回	2021年3月22日	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度事業現況報告に関する件 ・2020年度補正予算承認に関する件 ・2021年度事業計画承認に関する件 ・埼玉福祉保育医療専門学校に関する件 ・埼玉ベルエポック製菓調理専門学校に関する件 ・東京滋慶学園と埼玉福祉学園の法人合併に関する件 ・就業規則の変更 ・「補償契約」及び「役員賠償責任保険契約」の件 	

⑪入学式・卒業式の開催

①入学式

学校名	日程	場所
埼玉福祉保育医療専門学校	4月10日 ※中止	4月13日～17日 各学科の導入教育内で代替式典を実施
埼玉ベルエポック製菓調理専門学校	4月10日 ※中止	4月13日～17日 各学科の導入教育内で代替式典を実施

②卒業式

学校名	日程	場所
埼玉福祉保育医療専門学校	3月17日	埼玉福祉保育医療専門学校
埼玉ベルエポック製菓調理専門学校	3月17日	埼玉ベルエポック製菓調理専門学校

法人名：学校法人埼玉福祉学園

●2020年度 学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会の開催状況

学校名	学校関係者評価委員会	教育課程編成委員会	
		第1回	第2回
埼玉福祉保育医療専門学校	7月20日(月)	7月20日(月)	11月18日(水)
埼玉ベルエポック製菓調理専門学校	7月27日(月)	7月27日(月)	11月30日(月)

●2020年度 消防避難訓練・防災避難訓練、健康診断の実施状況

学校名	消防避難訓練・防災避難訓練日程	健康診断日程	
		学生の実施日程	教職員の実施日程
埼玉福祉保育医療専門学校	6月24日(水)	3月31日(火)	8月31日(月)・9月1日(火) 9月3日(木)・4日(金)
埼玉ベルエポック製菓調理専門学校	6月23日(火)	8月12日(水)	

2020年度 埼玉福祉保育医療専門学校 事業報告

1. 全体報告

広報：入学目標 195 名に対して、実績 212 名。

教育：退学目標 11 名（3.4%）に対して、実績 12（3.7%）。

就職：就職率 100%に対して、実績 95.2%。

①広報活動状況

- ・昼間部（介護福祉士科、保育士科・保育士科夜間主コース、言語聴覚士科）は埼玉県内・高校生をコアターゲット（中心顧客）とし募集を展開した。言語聴覚士科Ⅱ部・社会福祉士養成科は受験要件が大卒以上となるため、社会人をターゲットとして募集を展開した。
- ・2020年2月頃から新型コロナウイルス感染症の影響で従来通りの対面型でのオープンキャンパスが実施できず、新たな試みとして公式 LINE を活用した「スマホオープンキャンパス」や、zoom を活用した「オンライン相談会」などを開催した。
- ・入学実績は目標の 200 名を上回る 212 名となった。学科別では介護福祉士科 48 名（昨年 46 名）、保育士科 44 名（昨年 44 名）、保育士科夜間主コース 27 名（昨年 27 名）、言語聴覚士科 35 名（昨年 42 名）、言語聴覚士科Ⅱ部 17 名（昨年 7 名）、社会福祉士養成科 41 名（昨年 29 名）となり、特に夜間の 2 学科（言語聴覚士科Ⅱ部・社会福祉士養成科）が前年比+22 名と大きく伸ばす結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響により就職困難となった大学生・第二新卒世代が 3 月に進学へと進路変更を図ったことが要因と考える。

②教育活動状況

- ・教育では、教育目標を中途退学者数 11 名（3.4%）に据え、2 年連続で 3% 台を達成し「良い学校」と評価されるような教育活動を目指した。結果は 12 名 3.7%。中途退学要因で大きいのは、精神面での病気、学習意欲の低下が多い。学習意欲の低下は授業内容に起因していたため、2021 年は授業のイノベーションを図った。

また、数字目標達成に向けた主な取り組みは次の 3 点である。①学科会で必ず課題学生の共有と対策を決めた ②全体会で現状数字と課題傾向を共有し、課題を「自分ごととして捉える」考え方を共有した。また、サポートアンケート研修やグループワークで次年度カリキュラム構築するなど行った ③課題が発生した時に、担任が抱える時間を短縮し早期に学科長、教務部長へ報告が廻る、スピード対応の P D C A サイクルを実施した。

結果は目標に 1 名届かなかったが、どうにか 2 年続けて 3% の中途退学で終えることができたことは、上述の対策が、ある程度はうまくいったものとする。

- ・国家試験合格率について。社会福祉士養成科は 82.8% で、目標 93% に対し未達。ボダーラインの 3 人を最後まで得点力 UP できなかったことが要因。介護福祉士科は 75.6% で目

標 93.4%に対し未達。特に留学生の取りこぼしが要因。両学科とも要因をしっかりと分析に次年度目標達成に繋げていく。

③就職活動状況

2020年度は卒業対象学科が5学科であり卒業生153名中146名が就職希望し3月31日まで139名が内定した。他分野と比較してコロナウィルス感染拡大に伴う求人の影響はなく、概ね学生の希望通りの進路決定が叶った。例年と同傾向だが、1年制の社会福祉士養成科で3月の国家試験結果発表後から活動開始した学生が年度を越えての活動をしている。また、在学中におこなっていた離職防止の取り組みを卒業後も継続していく。

2. 個別報告

① 特色ある事業活動報告

学内認知症カフェの実施

社会福祉法人育成会 地域包括支援センター白菊苑と連携し、学内認知症カフェ（オレンジカフェ）を実施。コロナ禍での実施だったが、学生主体でコロナ対策を試行錯誤し、施設職員とも確認を行いながら実施することができた。年間で8回の実施で、各回最大6名という人数制限を設けたが、参加いただいた地域高齢者の方々が学生とコミュニケーションをとることができる場となり、参加者によっては自作のマスクや紙芝居など、趣味を披露することもできた。毎回来校していただける方も増えている。

新型コロナウイルス感染症対策による代替実習

社会福祉士養成科における、法定の相談援助実習は、新型コロナウイルスによる外部実習不可施設が発生し、外部で実習ができなくなった学生に対し、学内で代替実習を2021年2～3月に行った。内容はコンプライアンス順守を前提に公的機関に確認をした上ですすめた。外部講師もお呼びし、学生が最終日まで満足度高い内容構成にした結果、全員が単位履修に必要な時間数を受講し、卒業することができた。

最後の卒業制作発表会

社会福祉士科は、学科として最後（2021年3月31日で廃科）になるため、「全員が成長して卒業」を目標に、特に卒業制作に力をいれ。チーム別発表11月、代表チーム発表12月5日に向けて取り組んだ。また12月5日以降は、学生から「何か、学校に残したい」という提案が出て、クラス全員で、学科特色を活かしたカレンダーを作り、3月15日最終登校日に、全員から学校長へ手渡した。

特別講演『少子高齢化の今、なぜ保育が大切になったのか』

保育士科は、対内外の教育イベントとして日本保育学会会長汐見稔幸先生を講師に招

きウェビナーを、2020年11月26日に実施。『少子高齢化の今、なぜ保育が大切になったのか』をテーマに171名の参加者へ向けにご講演頂いた。当日は当校学生の他、多くの現任保育士や潜在保育士の方、これから保育士を志す方やその保護者様も参加され、これからの保育士の在り方と未来を創造する担い手となる専門性に業界への期待が膨らむ内容となった。

② 教職員研修

新入職者研修 4月実施
OJT研修 3・4・9月実施
教職員研修 4, 6, 9, 10, 12月実施
FD（マイクロ研修）レベル研修 4月
FD（マイクロ研修）フォローアップ研修 6月
FD（ミドル研修）レベル研修 6月
国家試験対策研修会 6月実施
FD（マクロ研修）レベル研修 9月実施
カウンセリング研修 9月実施
フォローアップ研修 11月実施
マネジメント研修 10月実施
広報力大会 10月実施
滋慶教育科学学会 12月実施

③ 総務・法務・リスクマネジメント

学費個別相談会・奨学金返還相談会の実施
個人情報管理責任者、個人情報取扱責任者研修・更新研修の実施（JPAC）
避難訓練、防災訓練の実施（2020年6月24日）
健康診断の実施（学生：2020年3月31日、教職員：2020年8月31日～7月4日）
AED取扱研修（中止）

④ 式典

入学式 4月10日（金） 中止 ※導入教育で代替式典 入学生 195名
卒業式 3月17日（水） 両国国技館 卒業生 153名

⑤ 学生活動

・定期的な大掃除を実施

⑥ 就職支援活動について

・OBOG 就職相談会、学内企業説明会

コロナウィルス感染拡大を受け、例年の全学科合同の集合型形式から形を変えて実施。介護福祉士科は教室内で十分な感染予防対策をとり、OB から現場での予防対策も交えて進路相談を行った。保育士科・社会福祉士養成科についてはオンラインで OB 及び人事担当者をつなぎ、福祉・医療の最前線をいく現場と学内での進路相談を可能とした。

⑦国家試験合格率

資格名	受験者数	合格者数	合格率
介護福祉士	45 名	34 名	75.6%
社会福祉士	29 名	24 名	82.8%

⑧海外研修・留学

今年度実施なし

国内国際教育の実施

⑨同窓会・卒後教育

特別講演『少子高齢化の今、なぜ保育が大切になったのか』（同窓会・学校合同企画）

保育士科の卒業生を中心とした教育イベントとして日本保育学会会長汐見稔幸先生を講師に招きウェビナーを、2020年11月26日に実施。『少子高齢化の今、なぜ保育が大切になったのか』をテーマに171名の参加者へ向けにご講演頂いた。当日は卒業生のほか、当校学生、多くの現任保育士や潜在保育士の方、これから保育士を志す方やその保護者様も参加され、これからの保育士の在り方と未来を創造する担い手となる専門性に業界への期待が膨らむ内容となった。

⑩学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会

・学校関係者評価委員会 2020年7月20日

・教育課程編成委員会 第1回 2020年7月20日

第2回 2020年11月18日

2020年度 埼玉ベルエポック製菓調理専門学校 事業報告

1. 全体報告

広報：入学目標 150 名に対して実績 138 名。

教育：退学目標 11 名（3.6%）に対して実績 11 名（3.6%）。

就職：卒業式までの希望者就職率 100%、実績 94%（126/134）

※5月31日までには希望者就職 100%達成見込み。

① 広報活動状況

2021 年度入学生向け広報活動では、「おいしいものしいもつくる学校」をキャッチに広報活動を実践。

- ・コアターゲット（中心顧客）は前年から変わらず「埼玉県内・高校生・女子」とし、新たな顧客として「留学生」「社会人（委託訓練生）」へとターゲットを拡げて募集を展開した。
- ・2020 年 2 月頃から新型コロナウイルス感染症の影響で従来通りの対面型でのオープンキャンパスが実施できず、新たな試みとして公式 LINE を活用した「スマホオープンキャンパス」や、zoom を活用した「オンライン相談会」などを開催した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、留学生の集客が振るわなかったこと、委託訓練生の募集定員が削減されてしまったこともあり、入学実績は目標の 180 名を大幅に下回る 138 名となった。学科別ではパティシエ科 22 名（昨年 34 名）、製菓衛生師科 29 名（昨年 29 名）、調理師科 73 名（昨年 84 名）、カフェ総合科 1 年生 14 名（昨年 33 名）となり、全ての学科が昨年を下回った。

② 教育活動状況

- ・教育では、「学生一人ひとりを大切に」という意識が教職員・講師の間での共通認識となり、学生個々に寄り添った支援が実践できるようになってきている。また、教職員、講師間で適切な情報共有を行うことで、学生の問題発見⇒問題の特定⇒対策立案⇒実行⇒チェックまでのサイクルがスピーディに実施できるようになった。また、学内外の学生サポート資源を活用することで問題を事前に予測し問題発生を未然に防ぐケースが増えた。

担任力の向上と学生サポート体制の強化を図る中、2 年連続（2019 年度・2020 年度）で退学者数の目標を達成し、一定の成果を出している。

今後の課題は留学生、委託訓練生など国籍や年代において多様化する学生に対してのサポート体制を構築していくことである。

- ・「製菓衛生師」（国家試験）の結果は受験必須学科である製菓衛生師科 13 名、通信課程選択者 50 名が受験し 40 名合格（合格率 63.5%）であり、前年を下回ってしまった（2019 年度 27 名受験／21 名合格／合格率 77.8%）。

2020 年度の総括を行い、国家試験対策の授業内容、運営方法の見直しは急務となっている。

③ 就職活動状況

2020年度は卒業対象学科が4学科であり卒業生152名中134名が就職希望し3月31日まで123名が内定した。例年、卒業時まで全員就職を成していたが、最も大きな要因は本年度初頭からの新型コロナウイルス感染拡大に伴う求人数の減少と採用水準の高度化によるものである。とりわけ対象者の1/4を占める委託訓練生と留学生を対象とした求人は厳しさを増し卒業以後も就職支援が必要である。また、在学中におこなっていた離職防止の取り組みを卒業後も継続していく。

2. 個別報告

① 特色ある事業活動報告

オンライン授業（調理師科）

調理師科では2020年度はコロナ禍において例年実施している学内販売実習は全て中止とせざるを得ない状況であった。しかし、年間を通して講師と共にオンライン授業に積極的に取り組み、新しい学びの価値を築いた。

産学連携「えごまレシピコンテスト」

産学連携教育として韓国農水産食品流通公社・デリッシュキッチンとコラボし、「えごまレシピコンテスト」に参加。調理師科2年生考案の最優秀賞レシピが大手料理サイトデリッシュキッチンで公開された。

特別授業 パティシエ科

パティシエ科2年生の後期では食の分野の企業や埼玉県洋菓子協会の技術者にお越しいただき特別授業を実施。企業様から『新宿高野』のフルーツカット技術の講習会を実施した。また、洋菓子協会からは細工菓子の技術指導として、飴やバタークリームなどの菓子について学び、競技会などの理解を深めることができた。

ビストロベル（学内店舗実習）

パティシエ科1年生の「ビストロベル（学内店舗実習）」を1年生の集大成として2回実施（12月）。学生のみで構成されるチームで、販売する製菓の企画、運営を実施。近隣・保護者の方々、延べ1,000名以上のお客様が訪れた。製造の技術、サービスマインドの向上、コロナ禍での販売など問題解決能力を高めるイベントとなった。

パティシエ科2年生は後期より製菓販売実習「ビストロベル（学内店舗実習）」を2回実施、今年度は保護者や来賓などをご招待することができないため、卒業制作で取り組んだ生菓子を冷凍して、保護者やお世話になった母校の先生などにお送りし2年生の成長を感じていただける取り組みを行った。

「クープジケイ」「ジャパンケーキショー」中止も代替授業を実施

全国8都市9校の製菓学校によって実施されるコンテスト「クープジケイ」および「ジャパンケーキショー2020」の中止に伴い学内でのコンテストを実施。審査員の方は、埼玉県洋菓子協会の方々にお越しいただいた。審査方法もクープドモンドに合わせた世界

基準の本格的なコンテストになっており、プロとしての技術そして、マインドを育む大会となっている。特に「ジャパンケーキショー」への出展予定だった1年生にとっては審査後に直接アドバイスをいただくなど次への問題発見解決につながる取り組みをなした。

カフェ総合科の卒業制作

カフェ総合科においては卒業制作の一環で（株）ティーピーディーから商品開発の依頼を受け、各お店のコンセプトに合うフード・スイーツ・ドリンクのアレンジレシピを企画・提案。業界から高い評価をいただいた。

その他の特色ある事業活動報告

- ・わこうどの会へのアフタヌーンティーのお菓子を製菓衛生師科1年生が提供。
- ・グループ校東京ホテル・ウエディング専門学校にて行われた本物の挙式にて、新郎新婦のお話を伺い、お二人とご家族に合わせたコロナ禍でも幸せを感じていただけるウエディングケーキ・プチギフトのデザイン・納品を学生とスタッフで行った。

②教職員研修

新入職者研修 4月実施
OJT研修 3・4・9月実施
教職員研修 4, 6, 9, 10, 12月実施
FD（マイクロ研修）レベル研修 4月
FD（マイクロ研修）フォローアップ研修 6月
FD（ミドル研修）レベル研修 6月
国家試験対策研修会 6月実施
FD（マクロ研修）レベル研修 9月実施
カウンセリング研修 9月実施
フォローアップ研修 11月実施
マネジメント研修 10月実施
広報力大会 10月実施
滋慶教育科学学会 12月実施

③総務・法務・リスクマネジメント

学費個別相談会・奨学金返還相談会の実施
個人情報管理責任者、個人情報取扱責任者研修・更新研修の実施（JPAC）
避難訓練、防災訓練の実施（2020年6月23日）
健康診断の実施（学生：2020年8月12日 教職員：2020年8月31日～7月4日）

④式典

入学式 4月10日（金） 中止 導入教育で代替式典実施 入学生 180名

卒業式 3月17日(水) 両国国技館 卒業生 152名

⑤学生活動

- ・ 定期的な大掃除を実施

⑥就職支援活動について

- ・ オンライン学内企業説明会 (7月11日)

新型コロナウイルス感染拡大を受け、例年の全学科合同の集合型形式からオンライン型に形を変えて実施。各企業と zoom を用いたオンライン説明会で実施し、求人難の中、参加企業 15 社で 14 名が内定した。

⑦海外研修・留学

学科名	研修先	期間	参加人数
パティシエ科	フランス	中止	
調理師科	イタリア	中止	

⑧国家試験

資格名	対象学科	受験者数	合格者数
製菓衛生師	製菓衛生師科	13名	11名 (84.6%)

⑨同窓会・卒後教育

スキルアップセミナーを企画したものの、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。2020年度は苦戦を強いられた在校生の就職支援に力を注いだ。

⑩学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会

- ・ 学校関係者評価委員会 2020年7月27日
- ・ 教育課程編成委員会 第1回 2020年7月27日
第2回 2020年11月30日